

52次・53次、しらせの総力を挙げての輸送

－昭和基地接岸不能時の空輸・氷上輸送－

18年ぶりの観測船の昭和基地沖接岸不能を受け、52・53次両隊及びしらせの総力を挙げての53次越冬成立に必要な物資の輸送が、1月24日から2月10日まで行われた。通常であればバルク輸送するはずの貨油のドラム缶による空輸とリキッドタンクによる氷上輸送、片道約30km/3時間半に及ぶ長距離氷上輸送により行い、53次隊が当初計画していた総輸送量の64%に当たる約820トンの物資を昭和基地に運び込んだ。輸送された主な物資は、食糧（100%）、貨油（55%）、ドラム缶燃料・油脂（100%）、車輛（100%）、越冬生活に必須な設営・生活物資（100%）、基本観測物資（ほぼ100%）、重点・一般研究観測物資（一部）で、53次越冬成立に必要な物資の全てを輸送することができた。